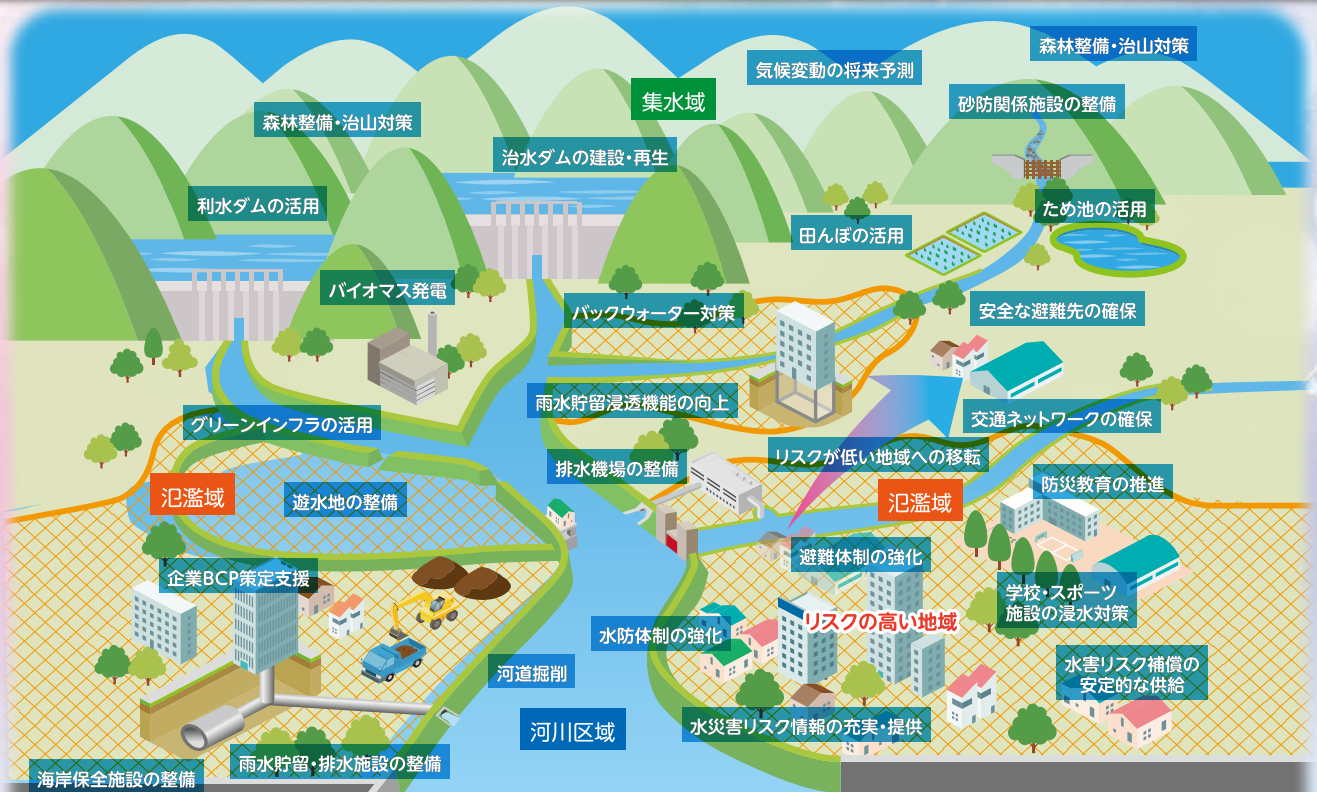


気候変動による水災害リスクの増大に備える「流域治水」

「最上川流域治水プロジェクト」を推進します！



あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」のイメージ

最上川では地域の特性・生業を踏まえた農業や雪対策と連携した対策を進めています

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(ハード対策)

- 河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良
- 利水ダム等25ダムでの事前放流等の実施
- 森林整備・治山対策・水田貯留(田んぼダム)

被害対象を減少させるための対策(住まい方の対策)

- 水害リスクを考慮した立地適正化計画作成及び居住誘導
- 土地利用規制・誘導(災害危険区域など)
- 雪対策と連携した氾濫被害の軽減(高床住宅など)

流域治水

田んぼの活用(田んぼダム)

降った雨を田んぼで貯留します。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策(ソフト対策)

- 水害リスク空白域の解消
- 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- まるごとまちなかハザードマップの促進
- 民間企業と連携した避難体制の強化

住宅の高床化

2階以上に居住することで雪害・水害から守ります。

避難体制の強化(企業連携)

企業と連携して避難所として活用します。

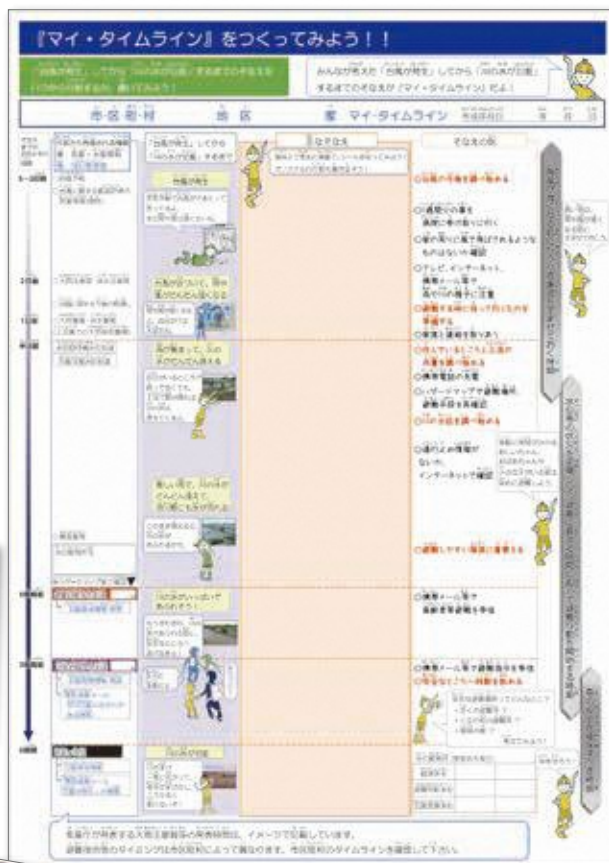
みんなではじめる『流域治水』

～一人一人ができること～

マイ・タイムラインをつくる



マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)で、大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身にとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助となります。どういふタイミングで避難することが良いのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考える必要があります。



マイ・タイムライン作成ツール



まるごとまちごとハザードマップ



まるごとまちごとハザードマップとは、実際に「洪水ハザードマップ」の情報を、まちなかに標示し、浸水エリア、浸水の深さ、避難場所までのルートを把握し、浸水看板を設置して地域の防災意識を高めるものです。

住民参加型の避難訓練



大規模災害に直面しても慌てず速やかに避難をするために、訓練に参加して体験します。

流域治水を詳しく調べるには



最上川流域治水協議会

マイ・タイムラインを作成するには



マイ・タイムラインの作成

雨や川の水位を知るには



川の防災情報